

や氏名などを印刷するもの。

オペラが見たい

ナビゲーター

音楽評論家
加藤浩子さん



2016年4月2～8日、国内各地で上映されるMETライブビューイング「マノン・レスコー」に出演するクリスティーヌ・オボライス ©Kristian Schuller/Metropolitan Opera



貸し出しサービスによく使われる国産オペラグラス「カブキグラス」(サンテプラス社製)

「全体が作曲された劇」としてオペラが誕生したのは16世紀末とされています。18世紀から20世紀初頭に全盛期を迎え、「魔笛」(モーツァルト)、「椿姫」(ヴェルディ)、「カルメン」(ビゼ

ー)など人気作品の大半はこの時期に作られました。「着飾って行くもの」と敬遠される向きも多いようですが、カジュアルな格好の聴衆が大半。チケットも演目によりますが、数千円

よく見えるオペラグラス貸し出しや、日本語字幕サービスを行っています。「体格のいい歌手が突っ立って歌っている」という印象を持たれがちですが、最近ではソプラノのクリステ

台からあります。多くの劇場は、歌手の表情や衣装が目に飛び込んできます。初めて見る方は、事前にネットなどで粗筋を調べて、「人が死ぬお話は嫌」「思い切り笑いたい」などで、自分の気分に合わせて作品を選ぶといいでしょう。各地の映画館で上映されるオペラもお勧め。ニューヨークのメトロポリタンオペラを映像で紹介する「METライブビューイング」(松竹)は、3,600円(一般、税込)で最高峰の舞台が見られます。とにかく劇場に足を運んでみてください。歌声に圧倒されますよ。(談)

始めよう!

粗筋調べて作品選び

家計の知恵

「家計の知恵」編集室
kakei@yomiuri.com

情報ディスク

● 上位車種で燃費改善

軽自動車「ハスラー」(スズキ、希望小売価格107万円台～167万円台)一部改良モデル。ポップで遊び心のある



グリーン、イエローの二つの新色を追加し、全11パターンの車体色とした。上位車種には、加速時にモーターでエンジンの動きをアシストする「S-エネチャージ」を搭載、燃費が改善した。